

本 会 記 事

I. 平成 26 年度 第 1 回評議員会議事録

日 時：平成 26 年 11 月 29 日 (土) 14:00~17:00

場 所：日本植物防疫協会会議室 (地階大会議室)

出席者：秋光和也, 青木孝之, 曳地康史, 平塚和之, 平八重一之, 一瀬勇規, 石黒 潔, 岩井 久, 景山幸二, 金山晋治, 川北一人, 北 宜裕, 児玉基一朗, 近藤則夫, 久保康之, 桑田 茂, 松永 礼, 森田健二, 中島 隆, 難波成任, 夏秋知英, 根岸寛光, 西口正道, 大木 理, 大島一里, 奥野哲郎, 佐野輝男, 高橋英樹, 瀧川雄一, 田代暢哉, 富岡啓介, 津田新哉, 柘植尚志, 月星隆雄, 對馬誠也, 渡邊 健, 吉川信幸, 土屋健一会長, 寺岡 徹副会長, 有江 力庶務幹事長, 宇垣正志庶務副幹事長
 以上評議員 41 名 (定員 56 名, 欠席者：相野公孝, 阿久津克己, 畔上耕児, 荒瀬 榮, 高橋賢司, 高松 進, 田中文夫, 土佐幸雄, 夏秋啓子, 長谷川裕, 濱本 宏, 百町満朗, 廣岡 卓, 古屋廣光, 増田 税)
 幹事・事務局出席者：奥田 充庶務幹事, 大里修一会計幹事, 松下陽介庶務幹事, 前島健作会計副幹事, 松原美穂事務局員, 渡辺玲子事務局員

1. 開会の挨拶 (土屋会長)

2. 審議事項 (議事進行：土屋会長)

(1) 平成 26 年度功績者の推薦について (奥野功績者推薦委員長)

委員会から名誉会員に眞山滋志氏, 露無慎二氏の 2 名, 永年会員に植松 勉氏, 倉橋良雄氏, 大口富三氏, 松本 勤氏, 荒井 啓氏, 原田幸雄氏, 鳥山重光氏, 山本孝猷氏の 8 名が推薦され, 承認した。

(2) 平成 27 年度学会賞及び学術奨励賞の選考について (土屋賞選考委員長)

委員会から賞選考委員会内規改訂および選考経過が報告された。

学会賞授賞候補者が次の 3 氏に決定したことが報告され, 承認された。

- ・景山幸二「卵菌類病原菌の分類学・生態学的研究」
- ・竹中重仁「生物防除微生物 *Pythium oligandrum* の病害抑制機構解明に関する研究」
- ・田代暢哉「EBC の概念に基づいた果樹病害防除技術の改善に関する研究」

(以上, 姓の ABC 順)

学術奨励賞授賞候補者が次の 3 氏に決定したことが報告

され, 承認された。

- ・塩谷純一郎「トマト葉面マイクロフローラ解析と病害抑制に関する研究」
 - ・今崎伊織「土壌伝染性病原菌の病原性機構に関する研究」
 - ・門馬法明「土壌還元消毒機構の解明と実用化技術の開発」
- (以上, 姓の ABC 順)

(3) 平成 27 年度論文賞の選考について (土屋会長)

編集委員長から, 以下の 2 編を受賞候補論文として選定した旨が報告され, 承認した。

- ・Takeshi Kashiwa, Keigo Inami, Masashi Fujinaga, Hideki Ogiso, Takanobu Yoshida, Tohru Teraoka, Tsutomu Arie. An avirulence gene homologue in the tomato wilt fungus *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* race 1 functions as a virulence gene in the cabbage yellows fungus *F. oxysporum* f. sp. *conglutinans*. Journal of General Plant Pathology 79(6): 412-421 (2013)

- ・Ayaka Fujiwara, Hanako Shimura, Chikara Masuta, Shinsuke Sano, Tsuyoshi Inukai. Exogenous ascorbic acid derivatives and dehydroascorbic acid are effective antiviral agents against *Turnip mosaic virus* in *Brassica rapa*. Journal of General Plant Pathology 79(3): 198-204 (2013)

(4) 平成 28 年度大会開催地について (土屋会長, 一瀬大会幹事)

平成 28 年度大会開催地を岡山市 (岡山コンベンションセンター) において, 開催することを承認した (予定期間: 平成 28 年 3 月 21~23 日)。

(5) 教育プログラムについて (寺岡教育プログラム委員長)

平成 27 年度教育プログラムを神戸市 (神戸大学農学部) で開催することが承認された。

(6) 関連学会との相互参加について (有江庶務幹事長)

関連学会から, 日本植物病理学会会員の大会参加について会員資格で参加できるようにしたいとお申出いただいた旨が報告され, 承認した。

(7) 学会運営マニュアルについて (有江庶務幹事長)

学会運営マニュアルの評議員・幹事・大会開催者等関係者への学会ホームページを利用した配布および利用等について提案があり, 承認した。

3. 報告事項

(1) 平成 27 年度副会長選挙結果について (平塚選挙管理委員長)

選挙結果が報告され, 桑田 茂氏が当選した旨報告された。

(2) 日本農学進歩賞の受賞者について(土屋賞選考委員長)
本学会から小松 健氏, 清水将文氏が受賞された旨報告された。

(3) 100周年記念式典および100周年記念事業について
(難波委員長)

実行委員会の進捗状況等運営等について報告された。記念式典への積極的な参加を呼びかけるよう依頼された。永年会員・名誉会員の祝賀会参加を無料にする旨報告された。記念シンポジウムの内容については講演者本人の研究紹介ではなく、今後の100年を見据えた内容になるようにコーディネーターに再確認の依頼があった。記念シンポジウム要旨の詳細な様式等を提示いただきたいとの意見があったので、委員会で対応することとした。

(4) 平成27年度大会(千代田区)の準備状況について(桑田大会委員長)

大会参加費については郵便振込またはクレジットカード決済を準備していること、大会ホームページでの参加登録の際に記念シンポジウムの参加予定セッションに関するアンケートを実施すること、談話会等は学会開催中の夕方に開催する予定である旨報告された。

(5) 日本学術会議植物保護科学連合関係について(有江庶務幹事)

学術会議公開シンポジウムが開催された旨報告された。

(6) 平成26年度大会・部会報告(有江庶務幹事)

平成26年度の大会および各部会の開催状況が報告された。

(7) 平成26年度研究会・談話会報告(有江庶務幹事)

平成26年度の各研究会・談話会の開催状況が報告された。

(8) 第10回教育プログラム開催報告(佐野評議員)

平成26年度植物病害診断教育プログラムの開催状況および、19名(会員10名, 学生1名, 非会員8名)が参加したことが報告された。

(9) 編集委員会報告(岩井編集委員会委員長)

投稿・受理等状況について報告された。編集事務に関わる収支状況が報告された。委員長から次期担当地区の検討について依頼があった。

(10) 技術士対応委員会報告(難波技術士対応委員会委員長)

次年度も技術士受験対策セミナーを実施すること、受験対策セミナーは1次試験と2次試験対応に分けて実施する予定である旨報告された。

(11) 三学会会長懇談会について(土屋会長)

病理学会, 応用動物昆虫学会, 日本農薬学会の会長懇談会が実施され, 学会事務局に関わる来年度人件費・事務費について, 電子投票について, 法人化について, 三学会会

長懇談会次年度幹事が日本応用動物昆虫学会であることの確認が主要議題であった旨報告された。

(12) 評議員選挙施行細則およびWeb選挙について(奥田庶務幹事, 有江庶務幹事)

平成27年秋期に実施予定の評議員選挙からWeb選挙を実施するにあたり, 評議員選挙施行細則改正を行う予定であること, 改正の承認は, 第2回評議員会を予定している旨報告された。細則中の「投票開始」および「確定」の用語の定義についての質問があったことから, 幹事会はこれら用語について検討することとした。

(13) 日本農学会常任委員および運営委員について(土屋会長, 有江庶務幹事)

前島庶務幹事が平成27年1月から日本農学会常任委員に就任すること, これに伴い, 日本農学会運営委員が有江庶務幹事から前島庶務幹事に変更されること, 前島庶務幹事の日本農学会常任委員就任に伴い, 今後, 庶務幹事の増員を検討する可能性があることが報告された。

(14) 日韓植物病理学シンポジウムについて(宇垣副庶務副幹事)

第3回日韓合同シンポジウムが釜山で開催され, 日本からは約70名参加したこと, 次回の日韓合同シンポジウムについては今後検討することが報告された。

(15) アジア植物病理学会(ACPP)について(曳地先生)

ACPPがタイチェンマイで開催され, 日本からは6名が参加したこと, 次回は2017年に濟州島で開催予定であること, 2020年頃に予定されるACPPの開催場所として日本(アジアからのハブ空港がある都市)が要望されていることが報告された。評議員会としては, ACPP開催を受ける方向で議論を進めていくことを確認した。

(16) IPPC 2015について(寺岡副会長)

XVIII IPPC 2015(ベルリン)の開催およびその状況について報告された。

(17) 特許法改正について(奥田庶務幹事)

学会講演発表における特許手続きにおいて証明書が不要となったため, 発行廃止とした旨報告された。

(18) 日本植物病名目録に係る情報の取扱いについて(富岡病名委員長, 奥田庶務幹事)

CD-Rの在庫がなくなったため, 配布は中止し, HPからのダウンロード方式に変更することが報告された。

(19) 専門委員会, 部会, 談話会等の議事内容報告や開催日程調整について(有江庶務幹事, 前島副会計幹事)

専門委員会, 部会, 談話会等の日程等については事務局宛に速やかに報告を願いたいこと, 開催日程調整のための

手段について幹事会で検討中であることが報告された。

(20) その他

- 日本学術振興会の「育志賞」, 「振興会賞」についての学会からの推薦についての提案がなされ, 幹事会で審議中であることが幹事から報告された。
- JGPP 論文投稿について, 私費払いの際の援助・割引等についての提案があり, 幹事会等で検討することとした。
- 予算執行のため, JGPP 等の印刷, 請求等の時期をずらすなどの対応はできないのか提案があり, 幹事会等で検討することとした。
- 超過ページやカラーページの値下げの提案があり, 幹事会等で検討することとした。
- JGPP 等の冊子体の廃止または冊子体と Web ダウンロード選択制等について検討することが提案された。

訂正のお知らせ

日本植物病理学会報第 80 巻特集号に誤りがありましたので, 下記の通り訂正いたします。

111 頁

(誤) 曳地康史^{1*}・Ullah Md Wali¹・大西浩平³・木場章範¹

¹ 高知大学植物工学研究室 ² 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

³ 高知大学総合研究センター遺伝子実験施設

(正) 曳地康史^{1*}・Ullah Md Wali¹・大西浩平²・木場章範¹

¹ 高知大学植物工学研究室 ² 高知大学総合研究センター遺伝子実験施設